

管内月間火山概況（平成 28 年 10 月）

仙台管区気象台
地域火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（10月31日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	岩木山、秋田焼山、岩手山、秋田駒ヶ岳、蔵王山、吾妻山、安達太良山、磐梯山
	活火山であることに留意	恐山、八甲田山、十和田、八幡平、鳥海山、栗駒山、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳

各火山の活動状況及び予報警報事項

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりです。

吾妻山では 18 日に噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）から 1（活火山であることに留意）に引き下げました。

その他の警報事項に変更はありません。

岩木山〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

八甲田山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

十和田〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

秋田焼山〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

岩手山〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

秋田駒ヶ岳〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

女岳^{めだけ}の山頂付近では、地熱域が引き続き確認されています。19日に火山性地震が一時的に増加しましたが、そのほかの期間は少ない状態で経過しました。

地殻変動及び噴気活動にも変化はみられませんが、地熱活動が続いていますので今後の火山活動の推移に注意が必要です。



鳥海山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

栗駒山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

蔵王山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

19日に振幅の小さな火山性微動が発生しましたが、そのほかの火山活動に特段の変化はありませんでした。

蔵王山では、2013年から2015年にかけて火山活動の高まりがみられました。その後も火山性地震や火山性微動が時々発生していますので、今後の火山活動の推移に注意してください。

吾妻山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕 ←18日に噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（活火山であることに留意）に引き下げ

吾妻山では、2014年12月に、継続時間のやや長い火山性微動が発生し、その後火山性地震が増加しましたが、2016年5月以降は地震の少ない状態で経過しています。火山性微動は2015年5月6日を最後に観測されていません。

地殻変動観測では、2014年秋以降に一切経山付近の膨張を示す緩やかな変化がみられていましたが、2015年7月頃から停滞または収縮の傾向になっています。

大穴火口では、2013年から2015年にかけて地熱域の拡大がみられ、2015年には大穴火口北西で新たに地熱域が確認されるなど、活発な熱活動が継続していましたが、2016年7月以降の現地調査で、地熱域の拡大は認められず、10月11日に実施した現地調査でも特段の変化は認められませんでした。

これらのことから、吾妻山では大穴火口周辺（火口から概ね500mの範囲）に影響を及ぼす噴火の兆候は認められなくなりましたので、18日15時00分に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（活火山であることに留意）に引き下げました。

大穴火口付近での熱活動は継続していますので、今後の火山活動の推移に注意してください。

山に入る際には、火山ガスに注意してください。また、大穴火口付近で噴出現象が突発的に発生する可能性があることに留意してください。

安達太良山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

磐梯山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報警報事項に変更はありません。

※噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用しています。

この管内月間火山概況は、仙台管区気象台のホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>）や、気象庁ホームページ（<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。

次回の管内月間火山概況（平成28年11月分）は平成28年12月8日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土交通省東北地方整備局、国土地理院、東北大学、弘前大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所及び青森県のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号 平26情使、第578号）。